令和８年度宝達志水町農業活性化協議会　水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本協議会の範囲である宝達志水町では、水稲を基幹として麦や大豆、野菜などを組み合わせた複合経営を目指して産地の育成を推進してきたが、国外産を含めた産地間競争の一層の激化に加え、農業の担い手の減少・高齢化や遊休農地の増加等農業構造の脆弱さが問題となっており、地域農業の一層の体質強化が課題となっている。

そうした中、土壌が貧弱であるという課題もあり、地力増進作物・土壌改良資材や環境保全型農業などの取り組みなども推進しなければならない。現在の需要に応じた生産の取り組みとしては自己保全、連作障害を回避する取組を実施した水田等の不作付地が全体の10%を占めており、需要に左右されない農業を目指すために農家の意識改革を図らなければならない。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

○　適地適作の推進

中山間地域、圃場整備実施状況等地域の水田の圃場条件を勘案し、適地・適作を推進していく。

○　収益性・付加価値の向上

戦略的に水田を活用した園芸作物等の産地を育成するため、市場から要望の高い品目で、水稲農家や集落営農組織でも取り組みやすく、機械化対応が可能である品目を選定し収益性の向上を図る。

従来から地域特産物として町や地域が産地化を図ってきたハトムギについて、引き続き「産地戦略作物」と位置づける。作付けに当たり、明渠の設置などにより排水対策の徹底を図る

○　新たな市場・需要の開拓

食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題である。そのため、国内の米の需要減少を見据え、海外での販路開拓に取り組んでいくため、輸出商品や販売方法の多様化を推進していく。

○　生産・流通コストの低減

地域における話し合いを基本に、「地域計画（旧人・農地プラン）」や農地中間管理機構等を積極的に活用しながら利用権の設定及び農作業受委託等の促進を図り、経営規模の拡大を推進するとともに、農地利用の分散錯圃の解消や作付けの連担化を図る。

あわせて、担い手の育成に資するための農業生産基盤の整備により、作物の生産性の向上を図るとともに水田の汎用化により多様な作物の作付けを可能にし、農用地利用率の向上を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

○　地域の実情に応じた農地の在り方

水田の有効利用及び米の消費低迷や米価の下落を防止するための観点から、転作田で大豆やそば、園芸作物に取り組むため水田を畑として利用する水田畑地化を推進する。また、不作付地について、水田の有効利用及び荒廃農地防止の観点から、「地域計画」の策定時等に集落で話し合いを進める。

○　地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択

多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度、産地交付金等を活用して、野菜やそばなどの作付を進める

○　地域におけるブロックローテーション体系の構築

ブロックローテーションによる計画的な転作作物の作付に取り組む。

○　水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

水田畑地化等を円滑に推進するため、「地域計画」の範囲ごとに現地確認・点検を行なう。農業者の意向も踏まえ、畑作物のみを生産し続けている水田について、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検を行う。結果を踏まえ、畑地化支援を活用した畑地化や地域におけるブロックローテーション体系の構築への支援を行う。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

「うまい・きれい石川米づくり＋１運動」を着実に推進し、需要に対応した良食味・良質米産地として評価を高めていくことが重要である。このため、本県の主力品種である「コシヒカリ」については、今まで以上に水管理の徹底や直播の導入による高温登熟の回避など気象変動、特に高温障害に的確に対応する取組を推進し、１等米比率の更なる向上を図る。

また、コシヒカリへの作付偏重とならないよう拡大傾向にある業務用需要にも対応できる「ゆめみづほ」や「ひゃくまん穀」の作付拡大や、環境に配慮した稲作としてＪＡが推進する「能登米」や特別栽培米にも取り組む。

生産基準数量の範囲内で需要に対応した生産を最大限に行う。

（２）備蓄米

備蓄米は国の入札での落札があり、実需の確保が前提となる。生産枠の確保を図り、非主食用米の中で優先的に作付を進める。

（３）非主食用米

はくい農協では非主食用米として米粉用米、新市場開拓用米、加工用米に備蓄米も組み合わせた形で一体的な取組を行っており、需要に応じた供給を行う。

ア　飼料用米

現在、本町では取組がないが、飼料用米の実需者となる畜産農家等から、「安定的に供給して欲しい」という声があることから、飼料用米が安定的に供給されるよう産地を誘導する。また、生産コストの削減を図るとともに、併せて生産性向上の取組を行うことが重要であるため、単収向上を重視した栽培管理に努める。

イ　米粉用米

米粉用米の実需者から、「安定的に供給して欲しい」という声があることから、米粉用米が安定的に供給されるよう産地を誘導し、米粉製品の消費拡大と合わせて作付を推進する。

ウ　新市場開拓用米

国内の米の需要減少を見据え、海外での販路開拓に取り組んでいくため、輸出商品や販売方法の多様化に対応した新市場開拓用米を推進するとともに、複数年契約に取り組むことで安定した供給を図る。

エ　WCS 用稲

本町では取組がない。

オ　加工用米

主食用米と同一品種で取り組めるため、中・小規模の農業者でも対応が容易であり、需要を見ながら取り組みを推進する。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦・大豆については、本町の転作における土地利用型基幹作物として産地化を進めており、共同利用施設の整備、実需者に対する安定供給を行ってきた。

また、水田の高度利用を図り、所得の向上を図る観点から、麦・大豆と水稲との輪作体系を構築することは重要であることから、今後も担い手への集積を進める。

品質・単収については、麦・大豆ともに全国平均と比べ低い状況にあることから、排水対策の徹底など基本技術を着実に励行する。

麦については、適期収穫の実施に努め、大豆については、「里のほほえみ」の特性に合わせた新防除体系の普及を進め、品質・単収の向上を図る。

飼料用米を除く飼料作物については本町では取組がない。

（５）そば、なたね

そばについては、地域の特産品としてＪＡ直販所などで販売を促進するほか、地産地消を推進することで産地形成を図る。

また、排水溝・暗渠排水の整備のほか、排水溝の本数を増やしたり、圃場に傾斜を施すなどの排水対策を徹底し、表面水が停滞しないようにするとともに、安定した生産量を確保し、担い手への集積を進め生産の拡大を図る。

そのほか、中山間地域の保全管理として、荒廃した土地でも栽培が可能で、開花時期には良好な景観が形成されるほか、農地の荒廃防止につながることから、生産の拡大を図る。

なたねは本町では取組がない。

（６）地力増進作物

はくい農業協同組合では自然栽培、有機栽培を推進する「のと里山自然栽培部会」があり、自然栽培と地力増進作物であるイネ科緑肥（ソルガム等)、地力増進麦（エンバク等)、マメ科緑肥（ヘアリーベッチ等)、景観緑肥（ひまわり等）を組み合わせて実施する。

また、自然栽培以外でも連作などによる単収減少への対策として、栽培体系に地力増進作物を導入し、単収の回復も進めていく。

（７）高収益作物

戦略的に水田を活用した園芸作物等の産地を育成するため、市場から要望の高い品

目で、水稲農家や集落営農組織でも取り組みやすく、機械化対応が可能であるねぎ、かぼちゃ、従来から地域特産物として町や地域が産地化を図ってきたハトムギの 3 品目について「産地戦略作物」と位置づける。

　また、別に定める作物を地域振興作物と位置づけ、ＪＡなどと連携して作付けを推進する。特に、「能登野菜」として地域で振興しているなす、ミニトマト、ブロッコリーについては「産地戦略作物」に準じた扱いとする。作付けにあたっては、明渠の設置などにより排水対策の徹底を図る。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	955.2		955.0		830.0	
備蓄米	0.0		0.0		30.0	
飼料用米	0.0		0.0		10.0	
米粉用米	1.4		0.0		10.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		4.0	
WCS用稲	0.0		0.0		0.0	
加工用米	21.3		27.6		86.0	
麦	26.6		23.6		50.1	
・大麦	26.5		23.3		50.0	
・小麦	0.1		0.3		0.1	
大豆	2.4		2.5		3.0	
飼料作物	0.0	0.0	0.0		0.0	
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0		0.0	
そば	8.7	6.1	1.6		12.0	8.0
なたね	0.0		0.0		0.0	0.0
地力増進作物	0.0		0.0		1.0	
産地戦略作物	10.4	0.9	10.1	0.0	17.0	3.0
ねぎ	3.5		2.7		4.0	
かぼちゃ	1.0		0.8		1.0	
ブロッコリー	0.0		0.0		0.0	
たまねぎ	0.0		0.0		0.0	
知事特認作物	5.9	0.9	6.6		12.0	3.0
・野菜	0.0				0.0	
・雑穀	5.9	0.9	6.6		12.0	3.0
・その他	0.0				0.0	
高収益作物	63.6	0.0	64.3	0.0	66.0	0.0
・野菜	4.3		4.7		5.0	
・花き・花木	20.5		20.9		21.0	
・果樹	38.8		38.7		40.0	
・地域で設定した高収益作物	0.0		0.0		0.0	
地域振興作物等 ※産地戦略作物を除く	0.3	0.0	0.3		0.0	0.0
・雑穀	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
・景観形成	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
・その他	0.3	0.0	0.3		0.3	0.0
畑地化						

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	（基幹作物・二毛作）麦	担い手加算（麦・大豆）	具体的要件の取組面積 単収の向上	（7年度）26.6ha （7年度）280kg	（8年度）23.6ha （8年度）350kg
	（基幹作物・二毛作）大豆		具体的要件の取組面積 単収の向上	（7年度）2.4ha （7年度）51kg	（8年度）2.5ha （8年度）182kg
2	（基幹作物）かぼちゃ、ネギ、ハトムギ	産地戦略作物加算	栽培面積	（7年度） 野菜　2.9ha ハトムギ　2.9ha	（8年度） 野菜　3.3ha ハトムギ　6.1ha
3	（基幹作物）地域振興作物、その他作物 （別紙品目一覧のとおり）	地域振興作物加算	栽培面積	（7年度） 能登野菜　0.1ha 野菜　2.2ha 果樹　0.9ha 花き・花木　0.6ha その他作物　0.2ha	（8年度） 能登野菜　1.0ha 野菜　3.7ha 果樹　2.0ha 花き・花木　7.8ha その他作物　0.3ha
4	（二毛作）ハトムギ	ハトムギ　二毛作加算	栽培面積	（7年度）0ha	（8年度）0ha
5	（基幹作物・二毛作）そば	担い手加算（そば）	具体的要件の取組面積 単収の向上	（7年度） 基幹　2.3ha 二毛作　3.4ha （7年度）24kg	（8年度） 基幹　1.6ha 二毛作　0ha （8年度）80kg
6	（基幹作物）そば	そば作付加算	具体的要件の取組面積	（7年度）2.3ha	（8年度）1.6ha
7	（基幹作物）新市場開拓用米	新市場開拓用米作付加算	栽培面積	（7年度）0ha	（8年度）4ha
8	新市場開拓用米（基幹）	新市場開拓用米の複数年契約支援	具体的要件の取組面積 数量	（7年度）0ha （7年度）0t	（8年度）1.7ha （8年度）8.5t
9	地力増進作物（基幹） ［対象：イネ科緑肥（ソルガム等）、地力増進麦（エンバク等）、マメ科緑肥（ヘアリーベッチ等）、景観緑肥（ひまわり等）］	地力増進作物の導入支援	栽培面積	（7年度）0ha	（8年度）1.0ha

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：石川県

協議会名：宝達志水町農業活性化協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）			対象作物 ※3	取組要件等 ※4
			当初	（基準）	上限		
1	担い手加算（麦・大豆）	1	12,000	（20,000 ）	22,000	（基幹作物）麦・大豆	担い手リストに掲載された生産者が対象 品目ごとの要件に取り組むこと [麦：適期収穫の実施、大豆：新防除体系の実践]
1	担い手加算（麦・大豆）（二毛作）	2	6,000	（10,000 ）	11,000	（二毛作）麦・大豆	担い手リストに掲載された生産者が対象 品目ごとの要件に取り組むこと [麦：適期収穫の実施、大豆：新防除体系の実践]
2	産地戦略作物加算	1	12,000	（20,000 ）	22,000	（基幹作物）ハトムギ、ねぎ、かぼちゃ	作付面積に応じて支援
3	地域振興作物加算	1	12,000	（20,000 ）	22,000	（基幹作物）能登野菜 （別紙品目一覧のとおり）	作付面積に応じて支援
3	地域振興作物加算	1	9,000	（15,000 ）	17,000	（基幹作物）地域振興作物 （別紙品目一覧のとおり）	作付面積に応じて支援
3	地域振興作物加算	1	5,000	（8,000 ）	9,000	（基幹作物）その他作物 （別紙品目一覧のとおり）	作付面積に応じて支援
4	二毛作加算（ハトムギ）（二毛作）	2	9,000	（15,000 ）	15,000	（二毛作）ハトムギ	作付面積に応じて支援 ※麦、なたねのいずれかを基幹作とした二毛作
5	担い手加算（そば）	1	9,000	（15,000 ）	17,000	（基幹作物）そば	担い手リストに掲載された生産者が対象 排水対策を実施すること
5	担い手加算（そば）（二毛作）	2	5,000	（8,000 ）	9,000	（二毛作）そば	担い手リストに掲載された生産者が対象 排水対策を実施すること
6	そば作付加算	1	0	（20,000 ）	20,000	（基幹作物）そば	作付面積に応じて支援 出荷・販売契約を締結していること
7	新市場開拓用米作付加算	1	0	（20,000 ）	20,000	（基幹作物）新市場開拓用米	作付面積に応じて支援 加工用米等取組計画書を提出すること ※コメ新市場開拓等促進事業との重複は不可
8	新市場開拓用米の複数年契約支援	1	0	（10,000 ）	10,000	新市場開拓用米（基幹）	令和8年度から新たに結ぶ3年以上の複数年契約に基づき、新市場開拓用米を作付けする取組を支援
9	地力増進作物の導入支援	1	0	（20,000 ）	20,000	地力増進作物（基幹） [対象：イネ科緑肥（ソルガム等）、地力増進麦（エンバク等）、マメ科緑肥（ヘアリーベッチ等）、景観緑肥（ひまわり等）]	作付面積に応じて支援 水稲、畑作物あとに地力増進作物を作付けする者が対象

産地戦略作物一覧（単価　12,000円/10a）

野菜等				雑穀類	
1	ねぎ	2	かぼちゃ	1	ハトムギ

地域振興作物（能登野菜）一覧（単価　12,000円/10a）

野菜等					
1	ミニトマト	2	なす	3	ブロッコリー

※「能登野菜」として出荷する場合に限り、この単価とする。

地域振興作物一覧（単価　9,000円/10a）

野菜等（能登野菜の基準を満たさない）		花き						花木	
1	トマト・ミニトマト	1	アカパンサス	21	サルビア	40	ハス	1	梅
2	なす	2	アザミ	22	シャクヤク	41	花桃	2	梅もどき
3	ブロッコリー	3	アスター	23	スターチス	42	葉ボタン	3	エリカ
		4	アルケミラ	24	ステラ	43	ハマナス	4	きりしま
		5	アワ（観賞用）	25	ストック	44	ばら	5	榊
		6	インパチエンス	26	スピードリオン	45	パンジー	6	桜
野菜等		7	エアリーフローラ	27	スプレー	46	ヒオウギ	7	ｻﾝｺﾞﾐﾂﾞｷ
1	カブラ（カブ）	8	オーシャンブルー	28	センダイハギ	47	ビオラ	8	ソケイ
2	すいか	9	オクロレウカ	29	ソリダスト	48	ヒマワリ	9	椿
3	だいこん	10	オミナエシ	30	タマスダレ	49	フリージア	10	ツルウメモドキ
4	チンゲンサイ	11	かぼちゃ（観賞用）	31	ダリア	50	ベゴニア	11	ドウダンツツジ
5	ホウレンソウ	12	カラー	32	ダンギク	51	ベニバナ	12	マサ木
		13	キキョウ	33	チューリップ	52	ポインセチア	13	柳
		14	キク	34	テッセン	53	ホオズキ	14	レンギョ
		15	キビ（観賞用）	35	デルフィニューム	54	マイクロ		
果樹		16	キリ（観賞用）	36	唐辛子（観賞用）	55	マリーゴールド		
1	いちじく	17	グニューカリ	37	とうもろこし（観賞用）	56	ユリ		
2	柿	18	グラジオラス	38	トルコキキョウ	57	らん		
3	スモモ	19	ケイトウ	39	ニューサイラン	58	リアトリス		
4	ぶどう	20	コギク						

※　花き・花木については、上記以外の品種も対象とする。

その他作物一覧（単価　5,000円/10a）

野菜等						果樹		その他	
1	アスパラガス	27	さやえんどう	55	はくさい	1	あけび	1	小豆
2	いちご	28	椎茸	56	パセリ	2	梅	2	エゴマ
3	いんげん	29	しそ	57	パプリカ	3	キウイフルーツ	3	えんどう
4	ウド	30	じねんじょ	58	ばれいしょ	4	銀杏	4	こんにゃくいも
5	えだまめ	31	春菊	59	ピーマン	5	栗	5	そら豆
6	大葉	32	しょうが	60	フキ	6	くわ	6	たばこ
7	オクラ	33	シロウリ	61	吹立	7	ざくろ	7	たらのめ
8	カタウリ	34	シロナ	62	藤豆	8	なし	8	ねぎ苗
9	からし菜	36	ずいき	63	プリンスメロン	9	ブルーベリー	9	花苗
10	カリフラワー	37	すぐり菜	64	まくわうり	10	プルーン	10	（切花用）母樹
11	キクイモ	38	ズッキーニ	65	まこも	11	みかん	11	野菜苗
12	きぬさやえんどう	39	せり	66	丸いも	12	桃		
13	きのこ類	40	千石豆	67	水菜	13	柚		
14	キャベツ	41	ぜんまい	68	未成熟とうもろこし	14	りんご		
15	きゅうり	43	だいこん菜	69	みょうが	15	レモン		
16	行者ニンニク	44	たまねぎ	70	メロン				
17	金糸瓜	45	とうがらし	71	モロヘイヤ				
18	金時草	46	冬瓜	72	ヤーコン				
19	くわい	47	とうもろこし	73	やまのいも				
20	ゴーヤ	48	ながいも	74	ゆうがお				
21	ごぼう	49	中島菜	75	ラッキョウ				
22	小松菜	50	菜花	76	ラディッシュ				
23	さつまいも	51	ニガウリ	77	レタス				
24	さといも	52	にら	78	れんこん				
25	サニーレタス	53	にんじん	79	わけぎ				
26	さやいんげん	54	にんにく	80	わらび				